

3年間近く続いた北米サンフランシスコのデータが、ここへきて急に変化してきています。2019年10月ごろから段々と大きくなっていったデータは2021年3月ごろをピークにしばらく大きなデータを続けていました。しかし昨年12月ごろから少しずつ減衰傾向が見られ、1月11日ごろに、それまでの連続データが急にばらけたようなデータに変っています。これを通常の間隔毎データでなく、日毎データにしてみると、1月になって急な減衰傾向が見てとれます。

仮にこのデータが地震性のものであれば、北米カリフォルニア沖の北米プレートに関する、かなりの大型地震の可能性、あるいは北米の西海岸の地下を走る巨大なサンアンドレアス断層が動くことでの大地震の可能性があり、大変危険な兆候と言えます。この先のデータの推移はわかりませんが、2月中の発震の可能性ががあります。現時点でとりあえず以下の予想を出します。

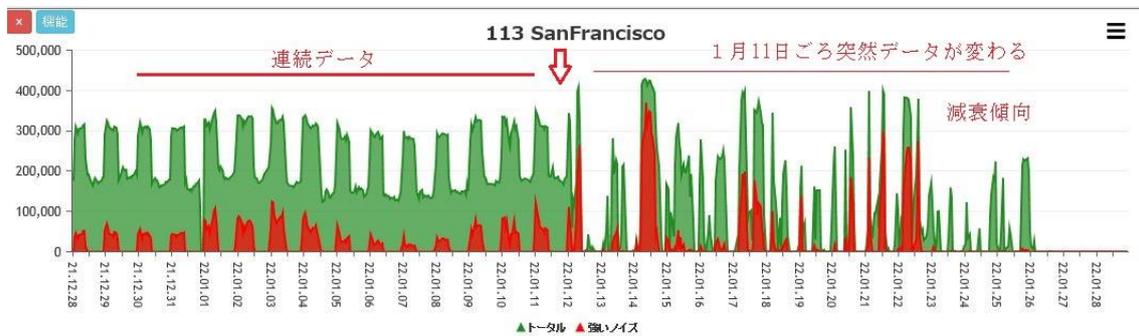
震源：北米カリフォルニア近辺

地震の規模：M7クラス

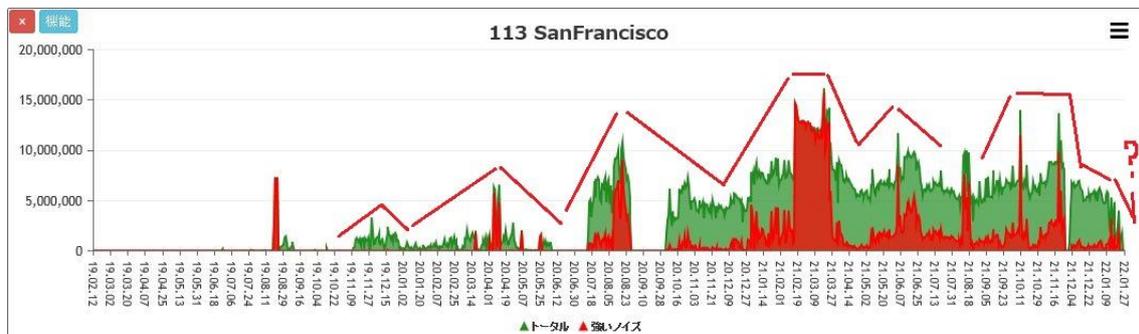
発生予想日：2月中

以下に、関連データを載せますので、参考にしてください。

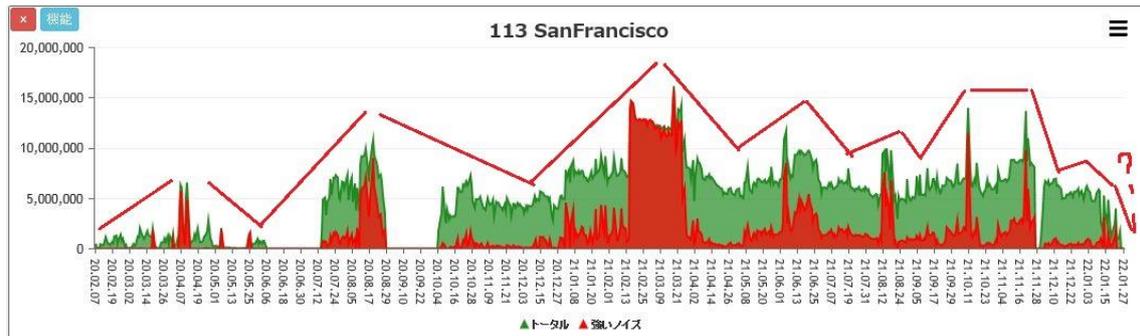
北米サンフランシスコ 30日間 時間毎データ



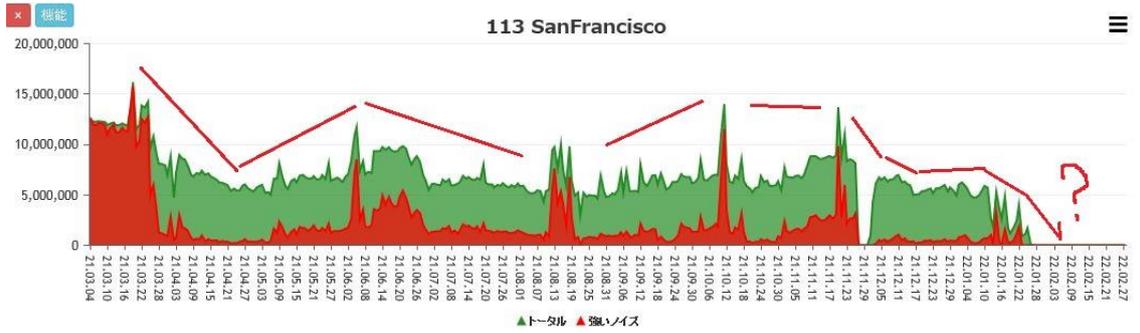
北米サンフランシスコ 1080日（3年間）日毎データ



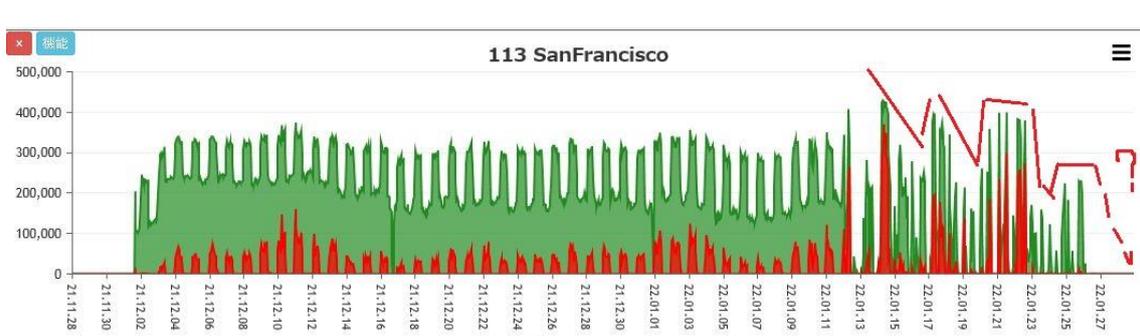
北米サンフランシスコ 720日(2年間)日毎データ



北米サンフランシスコ 360日(1年間)日毎データ



北米サンフランシスコ 90日時間毎データ



北米サンフランシスコ 30日間 時間毎データ

